

平成28年度事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

<社会福祉事業>

1	法人運営に要する経費	-----	1
2	地域福祉に要する経費	-----	5
3	介護予防事業に要する費用	-----	1 2
4	生活福祉資金貸付事業に要する経費	-----	1 4
5	相談支援事業に要する経費	-----	1 5
6	法人後見事業に要する経費	-----	1 7
7	成年後見支援センターに要する費用	-----	1 9
8	地域活動支援センターに要する経費	-----	2 1
9	志木市児童センターに要する経費	-----	2 3
10	宗岡子育て支援センターに要する経費	-----	2 6
11	学童保育クラブに要する経費	-----	2 9
12	居宅介護支援事業に要する経費	-----	3 3
13	訪問介護事業に要する経費	-----	3 5
14	志木市福祉センターに要する経費	-----	3 7
15	志木市第二福祉センターに要する経費	-----	3 9

<多機能型事業>

16	多機能型事業所（生活介護）に要する経費	-----	4 1
17	多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費	-----	4 3

<公益事業>

18	地域包括支援センターに要する経費	-----	4 6
19	志木市総合福祉センターに要する経費	-----	5 3
20	宗岡第二公民館に要する経費	-----	5 5

<収益事業>

21	自動販売機の設置に要する経費	-----	5 9
----	----------------	-------	-----

サービス区分	1 法人運営に要する経費
--------	--------------

事業の概要 社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各グループ間との連携を図る事業を推進した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	46,874,171	職員人件費
事業費支出	2,060,853	広報事業、表彰事業他
事務費支出	4,035,736	事務所管理費他 (専有面積)
助成金支出	558,500	会員募集事務費
積立資産支出	15,457,457	運営調整基金へ(15,000,000) 運営調整基金利子(267,593) 災害V基金利子(189,864)
繰入金支出	425,837	地活へ(425,837)
支出合計	69,412,554	

2 重点施策への取り組み

社会福祉法の改正に伴い定款を変更したほか、関連規程の整備に取り組んだ。また、総合福祉センターの大規模改修工事に伴い増築棟 (別館) を設置するための準備を進めた。

3 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

経営委員会、理事会、評議員会、監事会を開催して経営に関する協議を進め、地域福祉関係団体等との関係強化のための渉外活動を行うとともに、法人として継続的な運営をするための体制整備を行った。

① 会議等

- ア、経営委員会 2回
- イ、理事会 5回

回数	実施日	出席者／定数 上段 理事 下段 監事	議案番号 主な内容
第1回	4 / 1	14 / 15人 1 / 2人	第10号 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について
第2回	5 / 26	15 / 15人 1 / 2人	第11号 評議員の委嘱について 12 平成27年度事業報告及び決算の認定について 13 平成28年度第1回補正予算について
第3回	10 / 26	14 / 15人 1 / 2人	①社会福祉法人制度改革に伴う定款変更について ②総合福祉センター改修工事に伴う事務所移転につ

			いて
第4回	12 / 20	12 / 15人 2 / 2人	第14号 定款の一部を改正する定款について 15 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について 16 評議員選任・解任委員会の設置に伴う委員の選出について
第5回	3 / 24	11 / 15人 2 / 2人	第1号 定款細則の一部を改正する細則について 2 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について 3 役員及び評議員選任規程の一部を改正する規程について 4 評議員選出規程の制定について 5 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の全部を改正する規程について 6 会員規程の一部を改正する規程について 7 委員会設置規程の一部を改正する規程について 8 事務局組織規程の一部を改正する規程について 9 事務決裁規程の一部を改正する規程について 10 職員就業規則の一部を改正する規則について 11 平成29年度予算及び事業計画について 12 評議員選任候補者の推薦について

ウ、評議員会 3回

回数	実施日	出席者/定数	議案番号	主な内容
第1回	5 / 27	18 / 36人	第4号	平成27年度事業報告書及び決算の承認について
			5	平成28年度第1回補正予算について
第2回	12 / 20	23 / 38人	第6号	定款の一部を改正する定款について
第3回	3 / 24	23 / 38人	第1号	平成29年度予算及び事業計画について

エ、監事会 1回

② 団体との渉外活動

ア、総会 16回

イ、新年会 7回

ウ、寄附 7回

エ、行事 8回

オ、後援活動 8件

カ、共催活動 1件

③ 寄附金の受け入れ 35件 1,236,810円

(2) 事務局活動

常勤職員7人分の人件費及び事務所の維持管理費など、法人事務局として必要な費用

を支出した。

- ① 職員の人件費並びに事務局運営のための経費 7人分
- ② 法人及び事務局運営のための会議・研修への参加 14件 17人参加
- ③ 市・団体関係会議への参加
 - ア、市行事・会議 3回
 - イ、志木市児童福祉審議会 1回
 - ウ、志木市要保護児童対策地域協議会代表者会議 1回
 - エ、志木市青少年育成市民会議 4回
 - オ、健康づくり市民推進会議 2回
 - カ、志木市地域福祉推進委員会 1回
 - キ、志木市コミュニティ協議会 21回
 - ク、志木市民生委員・児童委員協議会 11回
- ④ グループ長・所長等会議 12回
- ⑤ 市町村社協連絡会関係会議への参加 11回

(3) 実習生・職場体験の受け入れ

- ① 相談援助実習（社会福祉士） 3大学 計4人 延べ57日間
- ② 中学生職場体験 2中学校 計5人 延べ6日間

(4) 組織強化活動

法人組織を強化するため、会員の募集や福祉功労表彰、職員研修を行った。

- ① 組織財政委員会 2回
- ② 会員募集及び募金募集
 - ア、地区委員会 2回
 - イ、会員募集説明会 5回
 - ウ、特別会員加入実績 106件 911,500円
 - エ、町内会別会員加入実績 6,880,000円
 - オ、赤い羽根募金実績 4,322,710円
 - カ、歳末たすけあい募金実績 2,428,548円

③ 福祉表彰

- ア、福祉功労者表彰式典 感謝2人・6団体
- イ、県社会福祉大会

知事表彰	1人・6団体
大会会長表彰	3人
共同募金会長表彰	1人
共同募金運動70周年特別顕彰	1人・35団体

- ウ、全国社会福祉大会 中央共同募金会会長表彰1人

④ 職員研修

- ア、新任研修 2回 17人出席
- イ、災害ボランティアセンター図上訓練 1回 5人出席

(5) 広報活動

市内の地域福祉情報の発信及び社協運営の情報公開をするため、社協だよりの発行やホームページの運営等、広報活動を行った。

① 社協だよりの発行

ア、広報編集委員会 12回

イ、定期発行 発行部数 年6回 各26,000部（全戸配布）

② ホームページの運営

3月31日現在アクセス数：48,830件

更新回数 47回

(6) 福祉サービス適正運営

福祉サービスを適正に運営するため、第三者委員を配置し、苦情解決及び事故防止に努めた。

① 第三者委員会 1回 3人出席

② 苦情受付件数 25件（第三者委員による対応なし）

③ 事故発生件数 23件

サービス区分	2 地域福祉に要する経費
--------	--------------

事業の概要 小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、地域住民の福祉理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成、援助を行った。さらに、公的制度を補完する在宅福祉サービスを展開した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	7,608,604	
事業費支出	7,944,938	自主事業
事務費支出	2,887,880	事務所管理費 (専有面積)
助成金支出	6,176,428	助成事業
固定資産支出	1	中古車輻寄附 (固定資産計上)
支出合計	24,617,851	

2 重点施策への取り組み

生活支援サービス体制の整備に向けて、市や地域包括支援センター等と連携し、市全域における意見交換連絡会を開催したほか、たんぼぼサービスや車椅子専用車のサービス提供体制・周知について検討を行った。また、地域で支える福祉社会の形成に向けて、高齢者・障がい者理解を促す福祉教育として、車椅子講習会、聴覚障がい理解講座、知的障がい理解講座等を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

生活支援体制整備業務を受託し、志木市における総合支援事業の構築に向けた協議を行った。また、小地域活動を推進するため、サロン活動の会場費や保険料等を支援したほか、運営相談や事業企画に関する相談・調整を行った。

① 生活支援体制整備業務 (市からの委託事業)

ア、第1層協議体の実施 2回

イ、生活支援体制整備関連研修会への参加 14回参加

② 小地域サロン活動の支援

ア、活動相談 33箇所

イ、運営支援 25箇所

ウ、設立準備相談 3箇所

エ、サロンスタッフ養成 (子育てボランティア養成講習会) 親子16組参加

オ、サロン関連研修会への参加 1回参加

カ、子どもランチルーム事業 登録者117人、延べ利用者222人

③ ふれあい健康交流会 (市からの受託事業)

- ア、定例実施分 32回839人参加
- イ、ボランティア協力状況 5団体31回
- ウ、全体イベント 1回113人参加
- エ、料理ボランティア研修会 5団体12人参加

④ 家族介護者交流事業（市からの受託事業）

実施日	参加者	主な内容	会場
6/8～ 6/9	介護者13人	さいしん福祉財団主催 介護者リフレッシュ旅行	福島県会津方面
9/21	介護者23人 協力者 3人	ホテルランチビュッフェ	ホテルメトロポリタン (池袋)
3/15	介護者21人 協力者 8人	介護者リフレッシュ講演会	フォーシーズンズ志木 ふれあいプラザ

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア・市民活動センターを志木市総合福祉センター1階に設置し、ボランティア関連の保険窓口業務、ボランティア活動保険の補助を行い、ボランティア活動を行う人・団体の活動支援を行うほか、さまざまな障がい者を支援する技術習得講座、地域に向けた障がい理解講座などを開催した。

また、次代を担う子ども達に福祉や障がい、ボランティアに対する理解の促進を図るため、小中学校を中心として福祉体験学習を推進するとともに、現状の課題を解決するため、福祉教育に関する研修会や協力者の連絡会議などを行った。

- ① 地域福祉活動推進委員会 2回
- ② 地区民生委員・児童委員協議会への参加 29回
- ③ ボランティアに関する相談・調整・情報提供 57件
- ④ ボランティア活動団体助成金申請支援

助成案内送付	5事業	延べ34団体
助成申請支援	1事業	1団体
助成決定数	1事業	1団体

⑤ ボランティア関連保険

ア、窓口受付

ボランティア活動保険	1,795人
ボランティア行事用保険	379件
福祉サービス総合補償	2件
送迎サービス補償	2件
事故対応	3件

イ、ボランティア活動保険補助 976人 146,400円

⑥ ボランティア体験プログラムー福祉学園ー

- ア、事前オリエンテーション 91人参加
- イ、体験学習 30コース延べ112人参加
- ウ、報告会 64人参加

⑦ ボランティア育成

- ア、施設ボランティア講座 8人参加
- イ、ボランティア入門講座 12人参加
- ウ、手話奉仕員養成講習会入門課程 21人参加
- エ、手話奉仕員養成講習会基礎課程 14人参加
- オ、朗読講習会 11人参加
- カ、点字講習会 6人参加
- キ、傾聴ボランティア養成講座 17人参加

⑧ 学校における福祉教育

- ア、福祉体験実績
 - 小学校 8校60件
 - 中学校 3校16件
- イ、福祉教育を目的とした福祉機材の貸出 7種類延べ80件
- ウ、朝霞地区四市福祉教育研修会（2日間） 延べ90人

⑨ 地域福祉教育

- ア、車椅子講習会 3人参加
- イ、聞こえない人の気持ちを考える講座 21人参加
- ウ、知的障がい家族支援研修会 62人参加

(3) 在宅福祉事業

高齢者や障がいのある人などが地域生活を送るための在宅福祉サービス事業を行った。また、介護保険や日常生活用具などの福祉制度を利用できない市民（会員）に対し、車椅子など在宅で生活する上で必要となる福祉機材等について貸出を実施した。

① たんぽぽサービス事業

- ア、年間活動時間 4,314時間30分
- イ、年間活動回数 3,266回
- ウ、サービス内容別活動時間

サービス内容	合計(時間)
買い物代行	91.0
外出（散歩、通院、買い物等）の支援	354.5
部屋の掃除、家具の移動、電球取替等家の補修など	2,332.0
ゴミの梱包、ゴミ捨て	32.0
庭の手入れ（草むしり、庭木剪定など）、雪かきなど	220.0
話し相手、見守り	352.0
その他（PC指導、料理、保育、その他）	933.0
合計	4,314.5

エ、登録者数 利用者142人、協力員44人

オ、会議・研修

- ・協力員会議 1回 延べ8人出席

・協力員新任研修 希望者に対し、随時

- ② 車椅子の貸出 延べ113件
 ③ 車椅子専用車の貸出及び福祉有償運送事業

ア、車椅子専用車貸出 299件

車輛別実績	夢ふれあい号	友愛号	いろは号
	62件	114件	123件
利用者別実績	高齢者	障がい者	その他
	1件	281件	17件

イ、運転ボランティア紹介

運転ボランティア 7人 延べ77件

- ④ 介護職員初任者研修（旧訪問介護員養成講座2級課程）

実施日	10/4～1/31 (スクーリング90.5時間、通信学習40.5時間、計131時間)
場所	総合福祉センター他
参加者	11人受講、10人修了

(4) 共同募金配分事業

共同募金配分金（地域歳末たすけあい募金配分金）を活用し、地域福祉及び在宅福祉を推進するための本会独自事業を実施した。

事業の効率化、対象世帯の拡大を図るため、今年度より大掃除援助事業を見直し、子育て世帯を対象とした、地域でつながる子育て応援事業を実施した。

- ① 地域福祉活動助成金審査委員会 1回
 ② 交流支援助成

ア、地区敬老会支援 21地区 601,100円

イ、世代間交流支援 27地区 873,000円

町内会・自治会名	地区敬老会支援			世代間交流支援		
	申請団体	助成額(円)		申請団体	助成額(円)	
市場	1 町内会	40,000				
上町	2 婦人部	30,100				
仲町			1	町内会	40,000	
双葉町	3 町内会	21,400				
東町	4 町内会	21,400	2	町内会	40,000	
中野	5 町内会	32,500	3	婦人会	20,200	
柏	6 婦人会	24,400	4	子ども会	18,200	
城	7 婦人部	28,600				
大塚			5	町内会	40,000	
中道			6	町内会	40,000	
西町	8 町内会	18,100				
久保	9 婦人会	17,500	7	子ども会	31,000	

城ヶ丘				8	子ども会	31,600
福住	10	婦人会	35,800			
館				9	町内会	40,000
柳瀬川	11	町内会	3,200	10	町内会	30,000
羽根倉	12	町内会	40,000	11	町内会	40,000
上木町	13	婦人会	31,600			
宗岡三区	14	婦人会	29,200	12	町内会	20,800
宗岡四区	15	婦人会	40,000	13	町内会	32,200
宗岡五区	16	婦人会	25,900	14	町内会	27,100
宗岡六区	17	婦人会	37,600	15	子ども会	35,500
ニューハイツ	18	老人クラブ	25,000	16	町内会	40,000
志木ハイデンス				17	町内会	40,000
グリーンパーク志木				18	町内会	24,900
南の森壱番街				19	町内会	40,000
南の森弐番街	19	老人クラブ	19,000	20	町内会	37,600
東の森壱番街				21	老人クラブ	26,200
東の森弐番街	20	町会	39,800	22	町会	34,900
中央の森壱番街				23	町内会	40,000
中央の森弐番街				24	町内会	40,000
中央の森参番街	21	町内会	40,000	25	町内会	40,000
ガーデンプラザ				26	町内会	12,800
シーズクラブ				27	町内会	10,000
合計	21地区		601,100	27地区		873,000

ウ、地域交流支援 11団体 21事業 464,700円

	団体名	事業数	助成額(円)
1	志木市身体障害者福祉会	3	78,900
2	あじさいの会	3	58,300
3	志木市視覚障害者六星の会	3	57,500
4	志木市心身障害児者を守る会	3	54,400
5	志木市手をつなぐ育成会	3	66,500
6	志木市聴覚障害者の会	1	34,000
7	志木市精神障害者家族会さくら草	1	23,500
8	おんどりクラブ	1	22,000
9	愛のかけはし連絡協議会	1	18,400
10	志木市老人クラブ連合会	1	32,800
11	志木手話サークル	1	18,400
	合計 11団体	21	464,700

③ 訪問支援助成

ア、福祉施設等訪問活動 5団体 43,900円

	団体名	訪問先	助成額 (円)
1	おんどりクラブ	多機能型事業所	19,800
2	市場子ども会育成部	ブロン	3,300
3	志木市老人クラブ連合会	ブロン・あったかの家	17,000
4	宗岡六区寿会	みつばすみれ学園	2,000
5	宗岡四区せせらぎ会	ツクイ	1,800
合計 5 団体		6 施設	43,900

イ、高齢者在宅訪問活動 7 団体 129,500 円

	団体名	訪問件数	助成額 (円)
1	志木市老人クラブ連合会	3 回延べ 306 件	91,800
2	双葉町みどり会	3 回延べ 60 件	18,000
3	宗岡四区せせらぎ会	1 回 6 件	1,800
4	志木ハイデンス暖団会	3 回延べ 30 件	8,300
5	大塚シニアクラブ	1 回 5 件	1,500
6	東町共楽会	2 回延べ 16 件	4,800
7	宗岡六区寿会	2 回延べ 11 件	3,300
合計 7 団体		15 回延べ 434 件	129,500

④ 運営支援助成

ア、地域活動支援助成 38 地区 1,191,000 円

内訳 (a+b)	地区数	支給額 (円)
a 会費募集実績額の 15%	38	910,400
b 一般募金募集実績額の 10%	38	280,600

<町内会・自治会別>

No.	町内会名	28年度 活動費 (円)	No.	町内会名	28年度 活動費 (円)
1	市場町内会	63,200	20	羽根倉町内会	46,800
2	寿町町内会	7,800	21	上木町町内会	85,100
3	上町町内会	54,100	22	宗岡三区町内会	51,200
4	仲町町内会	16,500	23	宗岡四区町内会	58,200
5	双葉町町内会	26,200	24	宗岡五区町内会	41,100
6	東町町内会	36,000	25	宗岡六区町内会	53,700
7	大原町内会	25,500	26	ニューハイツ町内会	40,700
8	中野町内会	41,000	27	志木ハイデンス町内会	19,900
9	柏町内会	51,800	28	グリーンパーク志木町内会	6,300
10	城町内会	35,400	29	南の森壱番街町内会	36,700
11	大塚町内会	51,800	30	南の森弐番街町内会	22,800
12	中道町内会	27,500	31	東の森壱番街町内会	31,200
13	愛宕町町内会	46,500	32	東の森弐番街町内会	20,900
14	西町町内会	8,700	33	中央の森壱番街町内会	21,100
15	久保町内会	18,000	34	中央の森弐番街町内会	25,000

16	城ヶ丘町内会	20,700	35	中央の森参番街町内会	23,900
17	福住町会	30,200	36	ガーデンプラザ町内会	3,000
18	館町内会	27,600	37	シーズクラブ	2,500
19	柳瀬川町内会	8,600	38	柳瀬川団地自治会	3,800
合 計					1,191,000

イ、地域住民生活支援活動助成 16団体 430,000円助成

	団 体 名	助成額 (円)
1	志木市老人クラブ連合会	30,000
2	志木市聴覚障害者の会	30,000
3	志木市身体障害者福祉会	30,000
4	志木市心身障害児者を守る会	30,000
5	あじさいの会	20,000
6	志木市視覚障害者六星の会	30,000
7	志木市精神障害者家族会さくら草	30,000
8	志木市手をつなぐ育成会	30,000
9	志木点訳サークル	30,000
10	志木音訳ボランティアもくせいの会	30,000
11	おんどりクラブ	30,000
12	かざぐるま日本語教室	20,000
13	志木おもちゃクリニック	20,000
14	人形劇団あかおに	20,000
15	たけのこ文庫	20,000
16	志木話し相手ボランティア語楽の会	30,000
	合計 16団体	430,000

ウ、戦没者遺族会活動支援 1団体 200,000円助成

⑤ ボランティア活動保険補助 976人 146,400円

⑥ 介護用品購入支援事業

食事用エプロン2枚組	50組
すべり止めマット	28枚
防水シート	135枚
ポータブルトイレ防臭剤	37個
プラスチック手袋300枚	154組
手指消毒液	42個
利用者	253件

⑦ 地域でつながる子育て応援事業

いろは子育て支援センター	63世帯
西原子育て支援センター	95世帯
宗岡子育て支援センター	65世帯
どろんこ子育て支援センター	11世帯
利用者	234世帯

サービス区分	3 介護予防事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 介護が必要とならないよう、心身の衰えを予防・回復する取り組みを実施するとともに、地域の仲間づくり、生きがいを積極的に展開した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	6,514,152	職員人件費
事業費支出	4,139,228	委託事業
事務費支出	2,619,720	建物管理費
支出合計	13,273,100	

2 重点施策への取り組み

市が宗岡第四小学校内に設置した「カフェ・ランチルーム宗四小」事業を受託し、閉じこもりがちな高齢者等の積極的な利用を促すサロン事業を展開して、交流できる場の運営を行った。また、カッピー体操など介護を予防する健康体操を市内各所で実施することにより、より多くの高齢者が地域活動に参加できる事業を展開した。

3 主要な施策の成果

(1) カフェ・ランチルーム宗四小

高齢者の介護予防活動の拠点として、宗岡第四小学校地内に設置された「カフェ・ランチルーム宗四小」を運営し、児童との交流を通じて、人と人とのつながりづくり、仲間づくり、生きがいを取り組んだ。

① 施設利用

開館日数 241日 利用者数 2,729人

② 給食利用

給食日数 67日 利用者数 922人

③ 実施事業

ア、ティーサービス

延べ 696人

イ、スマイル体操（健康体操）

94回実施 延べ 1,484人

ウ、歌声サロン

39回実施 延べ 599人

エ、体力測定会・健康講話会

a 体力測定 5回

b 健康講話 5回

c 施設見学会 2回

(2) いろはカッピョ体操

だれでも知っている曲に合わせて、タオルを使ったストレッチや玄米ダンベルを使った志木市独自の筋力アップ健康体操「カッピョ体操」を身近な場所で継続的に行った。

① 実施会場、回数、参加人数

会場	回数	参加人数
市民体育館 剣道場	96回	3,006人
総合福祉センター	94回	3,161人
福祉センター	81回	1,559人
第二福祉センター	100回	2,573人
4箇所	371回	10,299人

② 小地域サロン

町内会館等	実施回数	参加人数
15地区	337回	4,304人

③ 指導体制

平成29年3月31日現在 登録ボランティア38人

サービス区分	4 生活福祉資金貸付事業に要する経費
--------	--------------------

事業の概要 低所得者、障がい者、高齢者、離職者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を援助するため、実施主体である埼玉県社会福祉協議会と連携を図りながら、資金貸付の窓口として、必要な援助・指導及び事務を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	1,415,000	職員人件費
事務費支出	181,000	事務所管理費 (専有面積)
支出合計	1,596,000	

2 重点施策への取り組み

実施主体の埼玉県社会福祉協議会をはじめ、志木市福祉課、ジョブスポットしき就労支援センター、志木市自立相談センターとの連携を図り、生活困窮世帯等に対する支援について迅速かつ適切な対応に努めた。

3 主要な施策の成果

(1) 貸付相談

相談件数
40件

(2) 利用件数

新規利用	償還完了	償還免除	償還・据置中
5件	9件	8件	128件

(3) 会議・研修

外部研修 1回 延べ2人参加

サービス区分	5 相談支援事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 福祉総合相談を基本に、相談者の課題解決に向けての情報提供、サービスの調整等に取り組んだ。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	15,519,704	職員人件費
事務費支出	2,146,990	事務所管理費 (専有面積)
支出合計	17,666,694	

2 重点施策への取り組み

多問題を抱える世帯などに対して、安心した生活ができるよう民生委員・児童委員、地域包括支援センターなどの関係機関と連携しながら、あらゆる分野への支援を行ってきた。また、定期的に相談支援事業所連絡会に参加し、相談支援事業所の周知を図るとともに、障がい者等相談支援・計画相談支援で把握している課題について、事業所・相談員間で共有し、自立支援協議会へ働きかけを行った。

3 主要な施策の成果

(1) 相談支援事業

① 福祉総合相談件数 88件

電話	来所	訪問	同行	関係調整	その他
25件	5件	8件	1件	44件	5件

② 計画相談支援 131件

ア、契約件数

新規契約	契約終了	延べ契約
2件	2件	131件

イ、障がい別契約件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
26件	65件	16件	24件

③ 認定調査 年12回 36件

④ 障がい者等相談支援事業所 1,358件

ア、相談件数

電話	来所	訪問	同行	関係機関	個別会議	その他
664件	93件	64件	14件	436件	46件	41件

イ、障がい別相談件数

身体	重度心身	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
181件	0件	164件	1,040件	171件	35件	79件	16件

(2) 会議・研修

- ① 会議・研修 10件 12人参加
- ② 地区民生委員・児童委員協議会への参加 16回
- ③ 自立支援協議会等 16回

サービス区分	6 法人後見事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 障がいや疾病等により判断能力が低下し、一人で生活していくのに不安がある人を対象に、生活支援員が定期的に訪問し、日常的な金銭管理や書類の整理、届出などを支援した。また、日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが安心して生活できるよう、法人として成年後見人を受任し、財産管理や身上監護を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	7,911,087	職員人件費
事業費支出	467,190	事業実施費
事務費支出	187,660	事務所管理費 (専有面積)
繰入金支出	3,078,853	法人運営へ
支出合計	11,644,790	

2 重点施策への取り組み

権利の擁護・虐待の防止の視点を持ち、住民の権利を守りながら抱えている問題に対して、関係機関と連携を取りながら事業を実施した。成年後見制度を含めた権利擁護ニーズを把握するため市内の介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス事業所にアンケートを実施、調査報告を行いながら制度の普及啓発を行った。

3 主要な施策の成果

(1) 日常生活自立支援事業

① 実施体制

常勤の専門員2人(兼務)、生活支援員12人の体制で取り組んだ。

② 相談

相談日・時間	相談員	件数
月～金曜日 8時30分～17時15分	常勤職員	461件

③ 利用状況

ア、契約件数 7件

新規契約	契約終了	延べ契約
1件	4件	7件

イ、分野別契約件数

高齢者	知的障がい	精神障がい	その他
3件	0件	4件	0件

④ 普及・啓発

実施内容	アンケート調査
実施目的	地域の権利擁護ニーズの把握

調査対象	市内の高齢者・障がい者に関わる49事業所
調査結果	各事業所へ報告、社協だよりに掲載

(2) 法人後見事業

① 権利擁護推進事業運営委員会 4回 延べ32人参加

② 利用状況

ア、保佐人 2件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
1件	0件	2件	70代男性、60代女性

イ、後见人 9件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
1件	2件	9件	90代女性1人、80代女性2人、70代男性1人、70代女性1人、60代女性1人、40代男性1人、40代女性1人、20代男性1人

ウ、後見監督人 4件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
2件	1件	4件	市民後见人4人を監督

③ 相談・対応件数 824件

身上監護・財産管理	540件
職員訪問	114件
権利擁護支援員訪問	170件

(3) 会議・研修

① 生活支援員会議 1回9人出席

② 生活支援員研修 2回10人参加

③ サービス担当者会議 17回17人出席

④ 専門員会議・研修 8回 9人参加

⑤ その他会議・研修 2件 11人参加

(4) 事業説明

視察（取材）対応等 7件

サービス区分	7 成年後見支援センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの生活を守る成年後見制度の普及啓発業務をはじめ、制度の利用に関する市民等からの相談に応じ、制度に関する情報を広く発信した。また、市民後見人の育成と活動支援を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	9,562,672	職員人件費
事業費支出	972,885	講習会、講座
事務費支出	2,052,443	事務所管理費（専有面積）
支出合計	12,588,000	

2 重点施策への取り組み

成年後見制度の普及啓発として、年2回の権利擁護セミナー・成年後見制度講演会、市民後見人養成講座の公開、地域に出向き制度説明等を行う出前講座及び権利擁護ニーズ調査を実施し、広く制度や市民後見人の普及啓発に努めた。

また、今年度2人の市民後見人が誕生し、その活動が適正に行えるよう活動支援を行うことができた。

3 主要な施策の成果

(1) 普及啓発（事業説明等含む）

① 権利擁護セミナー・成年後見制度講演会

実施日	参加者	主な内容	会場
11 / 23	96人	「市民後見人活動の現場から～成年後見制度利用促進法と市民後見人活動報告会～」 講演会講師 司法書士 大貫正男氏、 活動報告 竹前栄二氏、元川嘉博氏、 肥田間久恵氏	ふれあい プラザ
3 / 26	39人	「家族のための成年後見制度講演会&個別相談会」 講演会講師 司法書士 高橋明子氏 個別相談員 司法書士 高橋明子氏、森本賢一氏	ふれあい プラザ

② 出前講座（制度・事業等説明） 19回

③ その他普及・啓発

実施内容	アンケート調査
実施目的	地域の権利擁護ニーズの把握
調査対象	市内の高齢者・障がい者に関わる49事業所
調査結果	各事業所へ報告、社協だよりに掲載

(2) 相談・手続きの支援、制度に関する情報提供等

① 相談件数 575件

ア、相談者別

本人	家族	行政	福祉機関	医療機関	包括	市民後見人	その他
27件	128件	75件	131件	21件	27件	98件	68件

イ、相談方法別

電話	来所	訪問	同行	メール	その他
374件	109件	32件	12件	12件	36件

ウ、相談者分野

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
319件	70件	115件	71件

エ、相談内容（複数相談あり） 988件

制度全般	申立手続	権利擁護	家族問題	財産管理	身上監護	相続	その他	市民後見活動支援
151件	173件	71件	57件	169件	60件	76件	62件	169件

(3) 市民後見人の養成と活動支援

① 市民後見人養成講座 全2回 14人参加

② 権利擁護人材バンク

ア、登録者 25人

イ、フォローアップ研修 6回 延べ92人参加

ウ、バンクだよりの発行 7回

③ 受任調整会議 3回 延べ19人参加

④ 市民後見人活動支援（後見監督業務含む）

ア、市民後見人 5人（活動中4人、終了1人）

イ、活動支援 98回

(4) 事業説明・視察対応等 7件

(5) 会議・研修 12件 14人参加

サービス区分	8 地域活動支援センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 障がい者の意思と人格を尊重し、利用者の立場や視点に立った障がい福祉サービスを提供するため、障がい者の声をもとにした創造的活動または生産活動の機会の提供及び社会との交流を図る事業を実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	4,958,265	職員人件費
事業費支出	6,116,540	市受託事業、自主事業
事務費支出	1,742,472	建物管理費（専有面積）
支出合計	12,817,277	

2 重点施策への取り組み

障がい者をはじめ、ひきこもりがちな市民の社会参加のきっかけとして、宗岡第二公民館との共催により「おとこの木あそび」「パステルアート教室」を継続し、障がい者や高齢男性の社会参加の場を広げ、日常生活の活性化を促すことができた。

教室事業では、関係機関及びボランティアの協力により新規登録者を得ることができた。また、視覚障がい者を中心に体を動かす場として「さわやか体操教室」を実施し、障がいのある人も気兼ねなく楽しく参加できる教室として好評を得ることができた。ガイドヘルプが不足している場合は、地活スタッフを手配して安全な支援体制を構築した。

3 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

- ① 地域活動支援センター運営委員会 1回 延べ8人出席
- ② 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供
7団体132回 延べ1,475人

(2) 自主事業及び受託事業の実施

① 教室事業（創作的活動）

教室名	回数	参加者数
陶芸教室	23回	200人
生け花教室	11回	47人
パステルアート教室	12回	137人
料理教室	12回	163人
詩吟	12回	59人
おとこの木あそび	11回	86人
写真教室	4回	37人
体操教室	6回	53人

合 計	91回	782人
-----	-----	------

② 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

12回 延べ96人参加

③ 青年学級（社会適応訓練）

6回 延べ116人参加

④ 機能回復訓練事業

96回 延べ681人参加

	実施回数	参加者数
月曜日	48回	381人
金曜日	48回	300人
合計	96回	681人

サービス区分	9 志木市児童センターに要する経費
--------	-------------------

事業の概要 児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法に基づく目的を達成するため、各種事業を実施するとともに、施設の維持管理に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を行った。

(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	19,106,539	職員人件費
事業費支出	645,661	自主事業
事務費支出	2,153,354	建物管理費 (専有面積)
繰入金支出	1,005,176	積立金へ
支出合計	22,910,730	

2 重点施策への取り組み

「こどもスペシャル」「なかよしランド」「ハロウィンゴーストルーム」など、普段と異なる遊具や施設の環境を整え、事業を展開することで、いつでも何度でも楽しめるリピート利用の促進を図ると共に、利用者(児)との親近感、信頼感を育む通年事業を充実させた。また、世代間交流や館外事業の実施により、市内全域の児童健全育成の場と機会の提供を行いながら、施設の周知・PR活動を行った。さらに、児童グループ全体で取り組む「こどもまつり」を開催し、地域交流の場を提供した。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 359日

市内利用者	市外利用者	団体利用者	合計	1日平均	事業参加人数
29,319人	2,467人	2,290人	34,076人	94.9人	21,279人

(2) なかよしタイム (正午から午後1時のなかよしルーム利用)

343回 延べ2,198人

(3) 事業実施状況

① 未就学児・保護者主対象事業 6事業 延べ3,962人

事業名	回数	参加人数
なかよしランド	11回	512人
児セビクス	189回	2,966人
子育て支援交流会	1回	34人
みんなであそぼ	11回	279人
みずあそび	9回	135人

読み聞かせデラックス	1回	36人
------------	----	-----

② 小学生主対象事業

ア、定例事業 7事業 延べ11,492人

事業名	回数	参加人数
めざせクイズ王	随時	5,880人
ぬりえコンテスト	12回	2,215人
コマ検定	随時	66人
けん玉検定	随時	219人
折り紙	随時	1,057人
わくわくタイム	50回	442人
つくってみよう	随時	1,613人

イ、季節事業 8事業 延べ2,775人

事業名	回数	参加人数
クラブ活動	6回	57人
夏・冬休みチャレンジ会	64回	1,189人
クッキング	2回	38人
こどもスペシャル	1回	788人
工作体験教室	1回	21人
ハロウィンゴーストルーム	1回	672人
お正月遊び	1回	—
おでかけ会(秋)	1回	10人

ウ、移動児童センター 3回 延べ214人

エ、ミニ移動児童センター 3回 延べ77人

オ、ジュニアリーダーの育成 28回 延べ116人 (平成28年登録6人)

③ 中高生主対象事業 3事業 延べ177人

事業名	回数	参加人数
高校生装飾物制作協力事業	1回	24人
ダンス教室	5回	102人
異世代交流会	1回	51人

④ その他一般主対象事業 12事業 延べ2,466人

事業名	回数	参加人数
ミニミニ避難訓練	4回	117人
子育てサークル支援	1回	24人
たけくらぶ活動支援	24回	114人
影絵公演	1回	172人
出張影絵公演	1回	70人

ミニサマーコンサート	1回	173人
こどもまつり	1回	611人
七夕週間	1回	480人
児童虐待防止推進月間事業	1回	78人
ふれあいフェスタ	1回	300人
総合福祉センターまつり	1回	214人
プチ児童センター	1回	113人

⑤ 多世代交流事業（受託事業）

回数	主な内容	参加人数
23回	ミニお笑いライブ、伝承あそび体験、大道芸パーティ、縁日あそび、ピザパーティ など	659人

(4) 職員研修

- ① 外部研修 7件 16人参加
- ② 施設見学 3件 5人参加

サービス区分	10 宗岡子育て支援センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 子育て家庭の保護者、乳幼児等に対する支援を行うため、子育て親子の交流の場の提供や子育て情報の提供などの事業及び子育てに関する相談・援助を実施し、児童福祉法に基づく子育て支援の拠点として、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	13,029,973	職員人件費
事業費支出	247,383	自主事業
事務費支出	586,517	建物管理費 (専有面積)
繰入金支出	436,477	積立金へ
支出合計	14,300,350	

2 重点施策への取り組み

子育て親子の交流が積極的に図ることができるよう、「あそびの広場」を充実させ、交流の機会を提供し、交流を促進させた。また、地域の児童公園や学童保育クラブに出向き、交流の場を提供した。

親子で表現活動を楽しむ「リトミック」やスキンシップをはかる「ベビーマッサージ」など、利用者のニーズにあった事業を実施することで、子育て支援センターの利用の拡大につなげた。さらに、児童グループ全体で取り組む「こどもまつり」を開催し、地域交流の場を提供した。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 359日

あそびの広場		子育て支援事業 ・相談事業等	合 計
子ども	保護者		
7,815人	5,845人	9,222人	22,882人

(2) 事業実施状況

① あそびの広場 349回 延べ13,660人参加

② ほっとタイム 328回 延べ2,188人参加

③ 広場事業 9事業 延べ3,261人参加

事業名	回数	参加人数
ミニミニ講座	12回	267人
ミニミニ誕生会	54回	922人
かわいいおてて	24回	189人
おおきくなったね	21回	691人

おたのしみタイム	21回	589人
ミニミニ避難訓練	4回	117人
対象別広場	10回	153人
青空ぼけっと	19回	333人
みんなのぼけっと（子ども用品リサイクル会）	2回	—

④ 子育て事業等 15事業 延べ3, 388人参加

事業名	回数	参加人数
親子講座	7回	141人
乳幼児の応急手当	1回	27人
P a P a ' s	20回	156人
みんなであそぼ	11回	279人
子育てサークル支援	27回	805人
ハンドベル隊「ぼけりん」	22回	446人
なかまほいく	10回	305人
健康stepup講座	1回	22人
ミニサマーコンサート	1回	173人
こどもまつり	1回	611人
むし歯予防教室	2回	53人
地区健康相談	1回	33人
子育て支援交流会	1回	34人
虐待防止	1回	131人
みんなのおてて	47回	172人

⑤ 相談事業 2事業 524件

ア、子育て相談 377件

	睡眠	食事	排せ	発育	発達・障がい	育児一般	サメ虐待	保健	家庭地域	合計
児童	9	35	17	10	21	193	3	21	29	338
大人	0	0	0	1	0	3	16	11	11	42

イ、専門相談 36回 147件

事業名	回数	参加人数
健康相談	6回	43人
まんま相談	11回	25人
おっばい相談	10回	25人
歯の健康相談	2回	17人
保健相談	4回	28人
栄養相談	1回	5人
巡回相談	2回	4人

⑥ リフレッシュ事業 2事業 延べ107人参加

事業名	回数	参加人数
リフレッシュ講座	4回	54人
癒されタイム	10回	53人

⑦ 季節事業 4事業 延べ775人参加

事業名	回数	参加人数
みずあそび	9回	135人
いもっこタイム	1回	84人
七夕週間	1回	480人
芋ほり	1回	76人

⑧ ボランティア事業

ア、ぽけっとクラブ

説明会	4回 9人参加 (内児3人保育あり)
活動	28回 85人 (延べ活動者43人) (延べ保育数42人)
登録者数	17人

イ、おもちゃクリニック 11回 218人

⑨ 共催・協働事業

事業名	参加者数
ふれあいフェスタ	300人
総合福祉センターまつり	214人

⑩ その他

見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 341人

(3) 職員研修

① 研修 9件 17人参加

② 視察 3件 3人

サービス区分	11 学童保育クラブに要する経費
--------	------------------

事業の概要 保護者等の就労等で常時留守になっている児童を保育する宗岡地区4学童保育クラブの運営を行った。また、学童保育クラブにおける児童の安全と充実した生活を確保し、自主性・社会性・創造性を培うとともに保護者との日常的な連絡、情報交換を行い、基本的な生活習慣についての援助や自立に向けた支援等、児童の健全育成に必要な活動を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	83,727,919	職員人件費
事業費支出	8,087,834	自主事業
事務費支出	8,149,247	建物管理費
支出合計	99,965,000	

2 重点施策への取り組み

志木市が待機児童をなくすため、学童保育クラブの受入れ人数を拡大し、施設増室における環境整備と支援員の増員を図った。また、全家庭を対象とした個人面談を実施し、学童での様子や成長を伝えた。さらに、小学6年生までの年齢対象拡大に対応し、子どもが『自ら進んで通い続けられる』学童保育クラブであるために、児童が安心して過ごせる生活の場所を保障するための育成支援を行い異年齢児の発達理解、クラス分け、職員配置など体制・組織づくりに取り組んだ。

個別には、宗岡第四学童保育クラブは、5月1日からカフェランチ宗四小で、保育施設として使用することで介護予防事業所職員と連携した。宗岡学童保育クラブは、7月20日から8月30日まで「地域交流スペース多目的室」、9月1日からは校舎内の和室を借用し法人の特性と資源を生かし宗岡地区の環境を考慮した特色ある保育を実現した。

児童グループ全体で取り組む「こどもまつり」を開催し、地域交流の場を提供した。

3 主要な施策の成果

(1) 月別児童在籍数

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
宗岡	1～3年	55	54	55	60	60	54	51	50	50	50	48	46	52.8
	4～6年	11	11	11	13	13	13	12	12	12	13	12	12	12.1
	合計	66	65	66	73	73	67	63	62	62	63	60	58	64.8
宗二	1～3年	50	50	47	56	56	54	54	53	53	51	51	50	52.1
	4～6年	6	6	5	8	8	5	4	4	4	4	4	4	5.2
	合計	56	56	52	64	64	59	58	57	57	55	55	54	57.3
宗三	1～3年	41	39	39	40	45	36	37	37	36	35	34	36	37.9
	4～6年	7	7	7	7	7	5	5	5	4	4	4	4	5.5
	合計	48	46	46	47	52	41	42	42	40	39	38	40	43.4

宗四	1～3年	54	60	58	60	57	54	52	52	54	53	50	51	58.9
	4～6年	9	12	12	12	13	8	8	6	6	6	6	6	8.7
	合計	63	72	70	72	70	62	60	58	60	59	56	57	63.3
総計	1～3年	200	203	199	216	218	198	194	192	193	189	183	183	197.3
	4～6年	33	36	35	40	41	31	29	27	26	27	26	26	31.4
	合計	233	239	234	256	259	229	223	219	219	216	209	209	228.8

(2) 平日・土曜日別児童利用状況

開所日数

(単位：日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所 日数	平日	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243
	土曜日	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	4	50
	合計	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	23	26	293

児童利用状況

(単位：%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
宗岡	平日	72	71	73	69	57	69	73	67	68	59	60	63	67
	土曜日	15	10	13	11	8	13	9	12	11	12	8	12	11
宗二	平日	64	65	70	69	55	70	71	67	68	62	67	70	67
	土曜日	14	18	21	17	11	13	14	14	16	14	18	17	15
宗三	平日	77	70	80	73	58	71	73	71	74	74	75	73	72
	土曜日	11	7	11	10	7	9	10	10	8	8	11	9	9
宗四	平日	75	69	73	71	61	76	76	72	71	67	73	68	71
	土曜日	8	8	9	6	9	7	7	7	7	8	8	9	8

(3) 緊急時対策

緊急時の対応マニュアルに基づき、防災・防犯訓練を年1回以上実施した。

① 学童保育クラブごとの基本訓練

種類	内容	宗岡	宗二	宗三	宗四
防災・防犯	防犯・防災に関する講話 笛による集合指示の実施	4/1 4/13	4/1	4/1	4/1
防災	地震・火災想定訓練	7/20	8/26	4/18 7/19	8/8
防災	災害用伝言ダイヤル体験利用（保護者）	5/30	6/1	6/1	6/1
防災・防犯	多目的室における防災と防犯（2年生対象）	7/22			
防犯	不審者対応想定訓練	12/20	2/27	12/27	12/26
防災	「防災とボランティアの日」について考える		1/27		
防災	地震想定避難訓練 「東日本大震災について考える」	3/13	3/10	3/13	3/13

② その他、緊急時対策

- ・救急救命講習を24人の職員が参加した。(6/6)
- ・甲種防火管理講習に3人参加し学童常勤職員全員、防火管理者資格取得した。
(2/8、2/9)

(4) 保護者との相互連絡

災害や台風、学級閉鎖、また児童の欠席など、携帯電話のメール機能を活用し保護者と学童保育クラブとの連絡を迅速に行った。

(5) おやつを提供

多機能型事業所との連携により、安心・安全な食材によるオリジナルおやつの提供を行い、また、アレルギーのある児童への対応をした。さらに、事業所職員と支援員と協議を重ねながら、職員におやつアンケートをおこない意見等を反映させた。

(6) 学校長期休業時の給食弁当提供について

給食弁当の試食会を行い、保護者に業者選定をしてもらうことで保護者の要望に応えた。また、アレルギー対策、食中毒対策、キャンセル等のシステム化を図り、安心・安全で良質な昼食を提供した。

(7) 事業実施状況

- ① 保護者個人面談 197世帯
- ② リズムタイム 225人参加
- ③ 社協関連共催事業 2事業 延べ665人参加
- ④ その他

ア、宗岡第二公民館の読み聞かせボランティアによる読み聞かせ。(各学童年1回)

イ、宗岡第二公民館主催「移動図書館」による本の貸出し。

ウ、宗岡子育て支援センター共催による「青空ぼけっとin学童」。(全7回)

エ、移動児童センターに参加。(宗岡第三学童)

オ、地域のボランティアの方による書道教室に参加した。(宗岡第三学童)

カ、ミニサマーコンサート・読み聞かせスペシャルに参加。(宗岡第四学童)

(7) 会議・研修

① 会議

ア、市主催

- ・要保護子どもセーフティネット会議 1回

イ、社協主催

- ・学童保育クラブ支援員全体会議 年4回
- ・施設長会議 年12回
- ・支援員会議 年11回
- ・支援員・補助員会議 11回
- ・チューター養成受講者による新人研修のための会議 4回

② 研修

ア、認定資格研修 7人受講

イ、外部研修 9件 30人参加

ウ、内部研修 3件 54人出席

- エ、全職員勉強会（学童保育アドバイザーによる勉強会 4回と支援員勉強会 各3回）
- オ、宗岡地区小学校福祉体験授業参加
- ・アイマスク体験 9校 57人
 - ・車いす体験 7校 37人

サービス区分	12 居宅介護支援事業に要する経費
--------	-------------------

事業の概要 介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、要支援または要介護の認定を受けた人のケアプランを作成し、要介護者の自立支援を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	22,767,803	職員人件費
事業費支出	19,975	講師謝礼
事務費支出	2,969,042	事務所管理費 (専有面積)
繰入金支出	5,435,646	法人運営へ
支出合計	31,192,466	

2 重点施策への取り組み

地域の医療資源の情報収集や把握を行い、またその資源との関わりを積極的に持つため医療機関に足を運び、顔の見える関係づくりを継続した。それにより退院時のスムーズな連携や在宅におけるより効果的な治療に繋げるケアプラン作成ができた。また、介護保険以外の資源の情報も組み込み、利用者の選択肢の幅を広げることにより、利用者自身の生活の場や人との関わり場を広げることができた。

3 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

①職員体制

	平成29年3月末
常勤職員	5人

②ケアプラン数

	平成29年3月末
介護計画	延べ1,727件
介護予防計画	延べ504件

③ サービス担当者会議 265回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービスについて	100回
現在のサービス見直しについて	88回
初回サービス担当者会議 (新規利用者)	60回
退院後の在宅復帰に向けておよび退院直後	7回
区分変更	10回

④ 介護予防サービス担当者会議 54回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービスについて	26回
------------------	-----

初回サービス担当者会議（新規）	16回
現在のサービス見直し（変更・追加）	10回
その他	2回

⑤ 相談件数 63件（うちケアプラン作成件数49件）

(2) 認定調査

要介護・要支援認定申請者に対し、76件の認定調査を行った。

(3) 会議・研修

- ① 外部研修 25件 延べ33人参加
- ② 志木市介護支援専門員連絡会及び事業所連絡会 6回 延べ11人参加
- ③ 志木市要援護高齢者支援ネットワーク会議 1回 2人参加
- ④ 志木市地域ケアエリア・コア会議 4回 延べ6人参加
- ⑤ 多職種連携研修 4回 延べ6人参加
- ⑥ ケアマネージャー会議 全12回 延べ57人出席

サービス区分	13 訪問介護事業に要する経費
--------	-----------------

事業の概要 介護保険制度における訪問介護事業・介護予防訪問介護事業、障害者総合支援制度における居宅サービス事業・移動支援事業、子育て支援のための養育支援事業、介護保険制度外の自主契約事業等を実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	73,667,952	職員人件費
事務費支出	3,610,899	事務所管理費 (専有面積)
繰入金支出	13,966,874	法人運営へ
支出合計	91,245,725	

2 重点施策への取り組み

「つながりを強め一致団結」を目標に、会議や研修に参加し、職員間のコミュニケーションを深めた。また、介護職員初任者研修の実施により、介護専門職として知識や技術の向上に努め、会議や研修、検討会等も定期的にも実施したほか、「ヒヤリ・ハット事例」の活用により事故防止に努めた。

3 主要な施策の成果

(1) 職員体制

	平成29年3月末
常勤職員	4人
短時間勤務職員	2人
登録ヘルパー	45人

(2) 活動時間、利用者数

区分	活動時間	訪問回数	延べ利用者数
訪問介護	14,043時間	14,310回	1,066人
介護予防訪問介護	3,613時間	3,727回	582人
居宅サービス事業	5,112時間	4,393回	477人
移動支援事業	1,321時間	1,427回	171人
自費契約事業	2時間	2回	2人
合計	24,091時間	23,859回	2,298人

(3) 研修・会議

- ① 登録ヘルパー全体研修 年5回 延べ224人出席
- ② ヘルパー地区会議 (4地区)
各地区4回 延べ148人出席
- ③ 新任研修 (1年未満の新任対象) 1回 延べ2人出席

- ④ 外部研修 19回 延べ44人参加
- ⑤ サービス提供責任者会議 12回 延べ67人出席
- ⑥ ケース検討会 39回 延べ156人出席
- ⑦ 地域ケア会議 2回 延べ3人出席
- ⑧ 自立支援協議会くらし部会 3回 延べ3人参加

(4) サービス担当者会議 90回

身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	6回
要介護認定更新に伴うサービス内容の確認	71回
生活状況及びサービス内容の確認	3回
新規訪問でのサービス提供内容について	10回

(5) 介護職員初任者研修

日程	内容	受講生
11/4～17(10日間)	講義・実技講習	11人
11/28～12/8	実習生同行訪問	

サービス区分	14 志木市福祉センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に施設の利用ができるよう、施設の維持管理に努めた。高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種運動教室やセミナー等を実施した。

また、志木市老人クラブ連合会の事務局として、志木市老人クラブ連合会及び各単位老人クラブに関する諸活動の支援を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	10,910,104	職員人件費
事業費支出	1,733,615	自主事業
事務費支出	11,748,833	建物管理費
支出合計	24,392,552	

2 重点施策への取り組み

志木市公共施設等マネジメント戦略に伴う志木市総合福祉センターへの移転を見据え、浴室ボイラー、濾過ポンプ、ガス漏れ対応の小型温水器設置などの老朽化している施設設備の補修工事を行い、安心、安全な施設管理を行った。

また、地域において健康で自立した生活が続けられるよう、介護予防事業を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 356日 (年末年始6日間及び定期清掃に伴う休館日3日間)

市内利用者	市外利用者	合計
46,102人	855人	46,957人

(2) 教室事業 10教室 119回 2,039人

高齢者の健康増進、教養の向上及び地域コミュニティの推進のため、また、新たな利用者を増やすため、各種教室を実施した。

教室・事業名	回数	参加人数
書道教室1組	10回	196人
書道教室2組	10回	205人
太極拳教室	11回	211人
フォークダンス教室1組	11回	185人
フォークダンス教室2組	11回	261人
健康体操教室	11回	234人
民謡教室	22回	287人
健康レクリエーション教室	11回	235人

大人のぬり絵教室	11回	120人
〃（自主勉強会）	11回	105人
合 計	119回	2,039人

(3) 高齢者まつり

高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、作品の展示、芸能の発表等により、交流や相互協力のきっかけの場として実施した。

実施日	6 / 3～5	
場 所	福祉センター	
参 加	芸 能	延べ198人
	展 示	157点
	模擬店	延べ13店補
来場者	約960人	

(4) 介護予防事業 5講座 4,410人

介護予防と健康的な自立生活が継続できるよう、運動を中心とした内容の他、認知症予防に重点を置いた講座を開催した。

教室・事業名		回数	参加人数
お気軽ころばん塾		週2回	1,846人
楽々筋トレ塾		毎日	2,284人
認知症予防 セミナー	イキイキ脳力アップ	9回	193人
	音楽療法	3回	58人
	水引細工	3回	29人

(5) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する事務を実施し、日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録等の諸活動の支援を行った。

(6) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、避難訓練を行った。

実施日	主な内容	参加者
12 / 20	総合防災訓練（避難）	職員及び利用者24人
2 / 22	総合訓練（消火、避難、通報）	職員及び利用者20人

(7) 研修・会議

外部研修 3件 3人参加

サービス区分	15 志木市第二福祉センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に施設の利用ができるよう、施設の維持管理に務めた。高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種運動教室やセミナー、レクリエーション等を実施した。

また、隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者の定期的な安否確認を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	13,784,932	職員人件費
事業費支出	1,269,009	自主事業
事務費支出	17,537,569	建物管理費
支出合計	32,591,510	

2 重点施策への取り組み

自動ドアの修繕、照明器具の交換、トイレの洋式化など、施設の利便性を高めるとともに、湧水排水ポンプの修繕を行い、施設環境の整備を図った。また、高齢者の日常生活の質の向上や健康増進、介護予防をすすめるため、各種教室事業、介護予防事業を行った。

3 主要な施策の状況

(1) 利用状況 開館日数 356日 (年末年始6日間及び定期清掃に伴う休館日3日間)

市内利用者	市外利用者	合計
42,076人	547人	42,623人

(2) 教室事業 9教室 97回 1,880人

高齢者の健康増進、教養の向上及び地域コミュニティの推進のため、各種教室を実施した。

教室・事業名	回数	参加人数
健康体操教室	11回	273人
リズム体操教室	11回	403人
太極拳教室	10回	186人
3B体操教室	11回	138人
書道教室	11回	229人
水墨画教室	11回	199人
認知症予防ゲーム教室	11回	169人
エンジョイ筋トレ教室	10回	132人
大人のぬり絵教室	11回	151人
合計	97回	1,880人

(3) イベント活動

利用者のお楽しみ会として、企画・実施した。

実施日	参加人数	イベント名	内 容
10/10	47人	世代間交流 カーレット志木大会	カーレットの習得と世代間交流 総合福祉センターと共催
12/16	50人	パフォーマンス楽団・結	大道芸と歌のパフォーマンス

(4) サークル活動支援

登録サークルの活動発表の場として年1回実施した。

日程	サークル数	来場者	内容
5/10	13	130人	サークル発表会

(5) 介護予防事業 8講座 7,199人（朝の5分間体操カウント無し）

運動を中心とした介護予防の他、認知症予防セミナーや健康セミナー等の講座を開催し総合的な介護予防事業を実施した。

教室・事業名		回数	参加人数
お気楽ころばん塾		週3	4,350人
楽々筋トレ塾		毎日	1,900人
朝の5分間体操		毎日	—
認知症予防セ ミナー	水引細工	3回	48人
	音楽療法	2回	61人
	歌声ひろば	5回	264人
	カーレット練習会・大会	15回	465人
健康セミナー		3回	111人

(6) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者10世帯に対し、開館日毎日、見守り安全確認（安否確認）を実施した。

(7) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練をはじめ、職員の研修などを行った。

日程	主な内容	主な参加者
10/13	避難誘導自主訓練	職員及び利用者（26人）
2/3	消防署指導のもと利用者を含めた訓練	職員及び利用者（35人）

(8) 会議・研修

外部研修 1件 1人参加

サービス区分	16 多機能型事業所（生活介護）に要する経費
--------	------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
就労支援支出	459,095	通所者工賃、材料費
事業税支出	36,139	作業収入に関わる消費税
人件費支出	23,879,427	職員人件費
事業費支出	596,404	自主事業
事務費支出	3,217,900	建物管理費（専有面積）
繰入金支出	2,325,000	法人運営へ
繰入金支出	7,351	就労支援補填
支出合計	30,521,316	

2 重点施策への取り組み

新商品（カラフルモップ）を作り、利用者の作業拡大と自主製品増加につながった。また、ボランティアが定期的に日帰り研修に参加してもらえるようになり、利用者との関係が構築できている。市内外のイベントに積極的に参加し、事業所PRと障がい者理解促進に努めた他、在宅福祉グループの協力により障がい者虐待防止研修を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 就労事業活動

平均月額工賃	活動内容
1,561円	自主製品販売、農作物の栽培と販売、アルミ缶回収

(2) 福祉事業活動

① 利用実績

生活支援員9人（常勤4人、短時間5人）の体制で、延べ3,910人の日常生活上の支援と自主製品づくりおよび販売の支援を行った。

② 販売活動

イベントに参加し、自主製品の販売活動を行った。

実施日	イベント名
4 / 3	春のいろは親水公園まつり
5 / 21	むさしの作業所春まつり
6 / 3	志木彩愛まつり

8 / 28	いろは市
10 / 16	健康まつり
11 / 27	市民まつり
12 / 6	障がい者理解促進イベント
年12回	市役所内販売
毎週月～金曜日	オープンスペースでの販売

③ 健診と余暇活動

身体および日常生活能力向上のために健診と余暇活動等を実施した。

	活動内容	回数
健診	内科検診	12回
	歯科検診	2回
	志木市健診事業参加	1回
余暇活動	大正琴	25回
	音楽療法	6回
	食事会	3回
	日帰り研修	2回
	外出行事	1回
	スポーツ・レクリエーション	6回
	絵画教室	12回
	リハビリ体操	44回

④ 会議・研修

- ア、外部研修 6件 延べ12人参加
- イ、内部研修 1回 延べ25人参加
- ウ、つくしんぼ会議 12回 延べ106人出席
- エ、常勤職員会議 12回 延べ107人出席
- オ、施設見学 2回 延べ4人参加

⑤ 避難訓練

2回 延べ33人出席

(3) 総合福祉センター事業への参加

参加事業名	参加人数	参加内容
ふれあいフェスタ	20人	大正琴の発表と自主製品販売
総合福祉センターまつり	29人	楽器演奏と自主製品販売

サービス区分	17 多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費
--------	----------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
就労支援支出	14,963,761	通所者工賃、材料費
事業税支出	1,296,104	作業収入に関わる消費税
人件費支出	38,494,888	職員人件費
事業費支出	1,615,379	自主事業
事務費支出	1,636,940	建物管理費
繰入金支出	1,657,000	
繰入金支出	86,066	就労支援補填
支出合計	59,750,138	

2 主要な施策の成果

(1) 平均工賃月額

平均工賃月額	ひまわり	クローバー
20,596円	34,729円	11,842円

(2) 平均工賃時給額

平均工賃時給額	ひまわり	クローバー
328円	764円	161円

(3) 支給工賃月額

就労B型合計	ひまわり	クローバー
744,889円	480,419円	264,470円

3 ひまわり

(1) 重点施策への取り組み

食堂の売り上げ増加、学童保育利用者の増加によるおやつ提供数の増加、口コミによるクッキー購入者の増加、館内利用者の弁当注文の増加により、利用者の就労機会を増加することができた。

(2) 食堂運営、販売活動、おやつ提供、浴室清掃の実績

	営業日数 (日)	利用客数 (人)	総売り上げ (円)
食堂運営	291	13,363	6,210,170

販売活動	195	—	1,182,170
おやつ提供	292	49,572	5,399,548
浴室清掃	287	—	482,450

(3) 福祉事業活動

① 利用実績

生活支援員（常勤2人）と職業指導員（短時間5人）の体制で、延べ1,301人の日常生活上の支援と就労の支援を行った。

② 会議・研修

ア、ひまわり全体会議 1回 延べ16人出席

イ、ひまわり会議 12回 延べ68人出席

ウ、常勤職員会議 12回 延べ107人出席

③ 避難訓練

2回 延べ11人出席

(4) 地域福祉関連事業への参加

参加事業名	参加人数	参加内容
こどもまつり	9人	販売営業
総合福祉センターまつり	21人	食堂営業

4 クローバー

(1) 重点施策への取り組み

今年度新たに施設内就労作業を確保し、継続して就労できる環境を維持している。

また、通所者及びその家族の声を拾い、落ち着いて仕事ができる環境づくりを心がけたことにより、通所者が不安定になる回数の減少につながっている。

(2) 就労支援活動

	就労場所	活動内容	延べ人数
施設外	福祉センター	トイレ清掃	697人
	公園清掃	清掃及び除草	227人
	大村商事	分別業務	1,332人
	志木高校グラウンド	除草作業	8人
	志木フラワー	園芸補助作業	92人
	複合施設もくせい	窓清掃	24人
	食堂実習	皿洗い等	73人
施設内	香炉灰他	4,020人	

(3) 福祉事業活動

① 利用実績

生活支援員3人（常勤1人、短時間2人）と職業指導員5人（常勤2人、短時間3

人)の体制で、延べ4,324人の日常生活上の支援と請負作業および施設外就労の支援を行った。

② 会議・研修

- ア、外部研修 1件 延べ2人参加
- イ、クローバー会議 12回 延べ91人出席
- ウ、常勤職員会議 12回 延べ107人出席

③ 避難訓練

1回実施 延べ15人出席

(4) 総合福祉センター事業への参加

参加事業名	参加人数	参加内容
ふれあいフェスタ	8人	大正琴の発表と演奏鑑賞
総合福祉センターまつり	12人	楽器演奏と生活介護の自主製品販売

(5) 実習体験生の受け入れ

受け入れ先	人数	受入日数
所沢おおぞら特別支援学校	2人	延べ10日
職場体験学習(志木中)	2人	延べ3日
職場体験学習(宗岡中)	3人	延べ6日

サービス区分	18 地域包括支援センターに要する経費
--------	---------------------

事業の概要 柏町及び館・幸町地区において、「地域包括ケア（高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるようにすること）」を推進する中核機関として、志木市からの委託を受けて活動展開した。

1 決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	54,577,358	職員人件費
事業費支出	4,427,811	市委託事業、自主事業
事務費支出	5,742,597	事務所管理費（専有面積）
繰入金支出	4,573,342	法人運営へ
支出合計	69,321,108	

2 志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜

(1) 重点施策への取り組み

社会福祉協議会が運営する地域包括支援センターとして、地域包括ケアの推進のために、介護サービスに限らず、地域の保健・医療・福祉サービスやインフォーマルサービスなどのさまざまな社会資源が連携できるよう、地域ケアエリア会議等を活用して、高齢者への包括的支援を行った。

平成28年度は、新しい包括的支援事業（新規4事業）として「地域ケア会議の推進」、「在宅医療介護連携」、「生活支援体制整備」、「認知症施策の推進」を受託し、地域包括ケアシステムの構築、ネットワークの構築を図った。

(2) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6,050件（実人数 389人、なんでも相談会 47人）

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
3,744件	645件	1,620件	41件	6,050件

② 実態把握業務

高齢者世帯実態把握二次調査 58件

③ 地域におけるネットワークの構築

ア、会議・打ち合わせ 57回

会議・研修会名	実施回数
地区民生委員会議開催（柏町）	1回
西部地区民生委員会議定例会	1回
地域運営推進会議（グループホームみんなの家）	5回
いろは100歳体操体験会	4回
いろは100歳体操サポーター養成講座・フォローアップ講座	2回
いろは百歳体操に関する打ち合わせ	4回

サンマンション説明会に関する打ち合わせ	2回
生活支援体制整備事業に関する打ち合わせ	23回
認知症サポーター養成講座、フォローアップ講座に関する打ち合わせ	3回
元気回復事業に関する打ち合わせ	3回
総合事業に関する打ち合わせ	2回
栄養改善事業に関する打合せ	2回
第二福祉センター改修工事に関する打ち合わせ	3回
かしわなほっとぶれすに関する柏町まちづくり会議との打ち合わせ	2回

イ、活動支援 42回

支援内容	実施回数
柏町内個人商店への周知活動	5回
ふれあい健康交流会への参加	7回
話し相手ボランティア世話人会・定例会への参加	12回
いろは百歳体操への参加	7回
第二福祉センター避難訓練への参加	2回
地域団体の事業への参加（サンマンション、しつきーず）	2回
社会福祉士実習指導・中学校職業体験への協力	7回

ウ、出前講座 8回 延べ336人

(3) 権利擁護業務

① 相談

ア、権利擁護・成年後見人制度関連相談 23件・実人数6人

イ、虐待関連相談 7件・実人数2人

② 啓発講座

交通安全、消費生活アドバイス 13回 315人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 相談支援

介護支援専門員からの相談	683件
サービス事業者からの相談	964件

② 支援のための会議・研修

介護支援専門員連絡会議	3回
サービス担当者会議（ケアマネ支援）	13回
地域ケアエリア会議への参加（他圏域）	1回
ケアプランチェック	1回

③ 地域ケア会議・地域ケアエリア会議

地域ケアエリア会議	11回
-----------	-----

④ 在宅医療・介護連携

代表者会議・打ち合わせ	7回
-------------	----

介護予防講演会	1回
ケアカフェしき	2回

⑤ 生活支援体制整備（第2層協議体）

日程	内容	参加者
6 / 2 1	柏町の地域課題について（ボランティア、サロン）	1 2 人
7 / 1 4	柏町の地域課題について（町内会）	1 0 人
2 / 6	今後の生活支援体制整備の方向性について	9 人

(5) 会議・研修

職員の資質向上のため、地域包括支援センターに関する会議・研修に参加した。
また、利用者の生活を支える上で必要となる関係者間の情報交換・協議などを行った。

① 職員外部研修 3 2 件 延べ 3 6 人参加

② 関係会議 7 6 回(2 7 年度 4 5 回)

会議名	参加回数
地域包括支援センター運営協議会	2 回
要援護者ネットワーク会議	1 回
地域包括支援センター連絡会議	5 回
地域包括支援センター所長部会	3 回
認知症対策部会	2 回
地域包括支援センター主任ケアマネ部会	1 0 回
地域包括支援センター社会福祉士部会	7 回
地域包括支援センター看護師部会	5 回
部会再編成会議	1 回
認知症初期集中支援モデル事業チーム員会議	4 回
虐待対応コア会議	2 回
生活支援コーディネーター連絡会議	5 回
生活支援体制整備 1 層フォーラム	2 回
新座市地域ケア会議・ケアサロンの参加	6 回
総合事業説明会	4 回
社協グループ長・所長等会議	4 回
柏の杜ミーティング（打ち合わせ）	1 3 回

(6) 介護予防支援事業所

① 介護予防サービス計画給付管理数

介護予防支援事業所として、延べ 1, 0 6 2 件の要支援認定者の介護予防サービス計画を作成した。

② 介護予防サービス計画サービス担当者会議

サービス担当者会議	7 0 回
-----------	-------

③ 要介護認定申請書等の申請を代行

申請代行	139件
------	------

(7) 市受託事業

① 二次予防事業把握事業

実態把握件数	27件
二次予防事業参加	19人
要介護ハイリスク者実態把握	251件／254件中

② 元気回復事業

内容	回数	出席数
体操&脳トレ	22回	412人

③ 認知症施策の推進

ア、認知症カフェ「杜のカフェ」

内容	回数	出席数
茶話会、講演会	13回	487人

イ、認知症徘徊模擬訓練（兼認知症サポーターフォローアップ講座）

内容	回数	出席数
講座、声掛け訓練、グループワーク	1回	22人

3 志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町

(1) 重点施策への取り組み

社会福祉協議会が運営する地域包括支援センターとして、地域包括ケア推進のために、介護サービスに限らず、地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどのさまざまな社会資源が連携できるよう、地域ケアエリア会議等を活用して、高齢者への包括的支援をおこなった。

元気回復事業による「脳活性化ゲーム&笑ふヨガ」を、コープみらい幸町店の会議室を活用しておこなうことで、幸町での新たな拠点づくりができた。また、コープみらいとの協力体制も図れた。認知症カフェを2箇所に発展させ、そこを基盤に、認知症サポーター養成講座や徘徊高齢者声かけ模擬訓練を実施し、認知症の人への理解や支援のあり方の普及啓発をおこなった。

地域の高齢者の拠り所づくりを、いろは百歳体操をツールとし、地域住民と力を合わせて取り組むことができた。

生活支援体制整備事業について、担当圏域の第2層協議体構成員へ説明し、第2層協議体を運営していくことの合意形成を図った。また、「地域づくり講演会」や「高齢者サロンの取り組み等の勉強会」を企画・開催し、協議体での地域課題の共有化、協議体構成員と顔の見える関係づくりをおこなった。

(2) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 7, 535件（実人数555人）

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
------	------	------	----	----

4, 701件	477件	2, 210件	147件	7, 535件
---------	------	---------	------	---------

② 実態把握業務

高齢者世帯実態把握二次調査 78件

③ 地域におけるネットワークの構築

ア、会議・打ち合わせ 34回

会議名	参加回数
民生委員会議	2回
地域運営推進会議（たての杜）	6回
地域運営推進会議（健康倶楽部）	6回
地域運営推進会議（GENKI NEXT）	1回
要介護高齢者個別支援ネットワーク会議	1回
街なかふれあいサロンスペース・わ連絡会議	6回
街なかふれあいサロンスペース・わ多世代交流（館保育園）	1回
ふれあい健康交流会	1回
とちの樹会体操サロン打ち合わせ	1回
サロンおりーぶ打ち合わせ	1回
コープみらい打ち合わせ	1回
認知症カフェ打ち合わせ	3回
認知症サポーター養成講座打ち合わせ	3回
シーズウィッシュ春祭り打ち合わせ（相談コーナー参加）	1回
認知症介護者のつどい	3回

イ、活動支援 88回

地域の高齢者サロン活動支援	54回
ふれあい健康交流会への参加	1回
ボランティア活動支援	33回

ウ、出前講座 13回 延べ555人

(3) 権利擁護業務

① 相談

ア、権利擁護・成年後見人制度関連相談 21件 実人数 4人

イ、虐待関連相談 49件 実人数 4人

② 啓発講座

ア、老後の安心のための法律ワンポイント講座 1回 14人参加

「遺言・相続」 講師：パートナー司法書士事務所 神戸 光邦 氏

イ、消費者被害防止ミニ講座 6回 84人参加

ウ、交通安全アドバイス 6回 84人参加

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 相談支援

介護支援専門員からの相談	690件
--------------	------

サービス事業者からの相談	1, 204件
--------------	---------

② 支援のための会議・研修

会議名	参加回数
介護支援専門員連絡会	3回
介護支援専門員研修会	3回
介護保険事業者連絡会	3回
サービス担当者会議への参加	10回

③ 地域ケア会議・地域ケアエリア会議

会議名	参加回数
地域ケアエリア会議	14回

④ 在宅医療・介護連携

事業名	参加回数
代表者会議・打ち合わせ・ワーキンググループ	8回
講演会「これからの在宅医療と介護」	1回
ケアカフェしき	2回

⑤ 生活支援体制整備

事業名	参加回数
生活支援体制整備第2層協議体	5回
住民向けフォーラム 講演会「館幸町みんなでつくる、みんなにやさしいまちづくり」	1回

(5) 研修

職員の資質向上のため、地域包括支援センターに関する会議・研修に参加した。
また、利用者の生活を支える上で必要な関係者間の情報交換・協議などをおこなった。

① 外部研修 29回 延べ30人参加

② 関係会議・打ち合わせ 83回

会議名	参加回数
地域包括支援センター運営協議会	2回
地域包括支援センター連絡会議	4回
社会福祉士部会	6回
看護師部会	8回
主任ケアマネ部会	11回
包括所長会議	6回
認知症対策部会	2回
認知症初期対応集中チーム員会議	2回
いろは百歳体操体験会打ち合わせ	1回
元気回復事業打ち合わせ	1回
総合事業説明会（参加）	5回
生活支援体制整備連絡会議	4回

第1層・第2層生活支援コーディネーター会議	5回
新座市地域ケア会議（視察）	5回
新座市ケアサロン（視察）	1回
新座志木中央総合病院 医療と介護の連携に向けた退院支援研修の受け入れ	1回
社協実習生の受け入れ	1回
社協グループ長・所長等会議	5回
包括・館幸町ミーティング	13回

(6) 介護予防支援事業所

① 介護予防サービス計画給付管理数

延べ 1, 326 件の要支援認定者の介護予防サービス計画を作成した。

② 介護予防サービス計画サービス担当者会議

サービス担当者会議	100件
-----------	------

③ 要介護認定申請書等の申請を代行

申請代行	208件
------	------

(7) 市受託事業

① 二次予防事業把握事業

実態把握件数	58件
二次予防事業参加	59人
要介護ハイリスク者実態把握	153件／167件中

② 元気回復事業

事業名	内容	回数	参加者
脳活性化ゲーム&笑ふヨガ	ミニ講座、脳活性化ゲームと笑ふヨガ	4回	39人

③ 認知症施策の推進

事業名	内容	回数	参加者
認知症カフェなごみ	講座、情報交換、相談、お茶会	6回	152人
認知症カフェ NAO	講座、情報交換、相談、お茶会	3回	79人
声かけ模擬訓練	認知症徘徊声かけ模擬訓練	1回	35人

サービス区分	19 志木市総合福祉センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 複合施設の利点を活かし、住みよい地域社会の形成が実践できる事業を関連機関や様々な団体と連携して企画・実施し、地域福祉の増進を図った。また、利用者が安全快適に利用できるように総合福祉センター及び宗岡第二公民館の施設管理を行い、良質な施設・設備を提供した。(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	21,593,056	職員人件費
事業費支出	323,005	総合福祉センター事業
事務費支出	21,984,729	建物管理費 (専有面積)
支出合計	43,900,790	

2 重点施策への取り組み

利用者の安心、安全を第一に、消防設備の不良、空調機器のメンテナンス、換気扇の交換等施設の老朽化に伴う不具合個所の修繕を行うとともに、平成29年度実施予定の改修工事に向けて、より良い施設づくりのため市と協議をすすめた。

また、複合施設の利点を最大限生かせるよう、社会福祉協議会他事業所、利用団体や福祉関係団体と連携・協力した各種共催事業や「ふれあいフェスタ」「総合福祉センターまつり」を実施し、利用者相互の交流を深めるとともに施設利用の促進に努めた。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数		359日
1階 ホール	利用回数	622件
	利用人数	34,706人

(2) 事業実施状況

① ふれあいフェスタ

実施日	12 / 11	
場 所	総合福祉センターホール	
内 容	ファッションショー・活動発表	300人
	保育	5人
	館内介助	2人

② 総合福祉センターまつり

実施日	3 / 4～5	
場 所	総合福祉センター	
参 加	利用者の会及び 福祉関係団体	57団体

	事業所等	17事業所
福祉サービス利用者	移送サービス	10人
	ガイドヘルプ	4人
	車いす介助	1人
来場者	延べ2,808人	

- ③ 防犯講演会（利用者の会団体育成支援事業） 39人
- ④ 普通救命講習会 21人
- ⑤ 大人の映画会 82人
- ⑥ カーレット体験会 17人
- ⑦ カーレット志木大会（第二福祉センター共催） 47人
- ⑧ 七夕週間 7日間 480人

(3) 防火管理・安全対策

総合福祉センター内の事業所と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練を実施した。また、火災、地震、事件・事故等の危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを職員及び関係者へ周知した。

① 訓練等

訓練・講習名	回数
消防訓練	2

② 研修

外部研修 5件 延べ6人参加

(4) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体等に、印刷機及びコピーサービスを実施した。

カラーコピー	954枚
モノクロコピー	8,904枚
印刷機	105件

(5) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。

① 実施方法

施設利用後に提出する利用カードにアンケート項目を入れ集計。いただいた意見については、改善に努めるとともに、内容をまとめ、結果を掲示した。

② 集計数 489件

サービス区分	20 宗岡第二公民館に要する経費
--------	------------------

事業の概要 住民の教養の向上、健康を増進し、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、関係機関や団体と連携し各種事業を実施するとともに、利用者の誰もが安心して利用いただけるように施設の運営を行った。

(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	13,394,057	職員人件費
事業費支出	3,088,038	公民館事業、図書室事業
事務費支出	10,267,943	建物管理費 (専有面積)
繰入金支出	1,593,122	法人運営へ
支出合計	28,343,160	

2 重点施策への取り組み

地域の学習拠点として誰もが参加しやすい公民館運営に向け、利用者の関心が高い「健康」や幅広い世代が興味をもてる「和文化」などをテーマにした講座を実施した。また、複合施設の利点を生かし、館内事業所との共催事業や地域団体との連携事業を実施し、日常的な公民館利用の促進を図った。

図書関連事業としては、ボランティアと連携したよみきかせ事業などで新作のエプロンシアターや大紙芝居作りに取り組み、内容も充実したことで、高い評価を得ることができた。さらに、小学校の長期休みを利用し、宗岡地区4学童保育クラブで移動図書室を実施した。期間中に専用の読書通帳を発行し、子どもの読書活動推進及び図書室の利用促進を図った。また、年間を通じたボランティアの協力により、図書室運営や事業の充実を図ることができた。

3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 開館日数 359日

	施設名	利用人数
3階	301会議室	5,461人
	302会議室	4,395人
	303会議室	4,173人
	304会議室	5,623人
	305会議室	5,422人
	306会議室	7,087人
	和室	1,732人
4階	調理室	2,725人
	トレーニング室	9,155人

	美術工芸室	3,009人
5階	多目的室	8,884人
	合計	57,666人

(2) 事業実施状況

① 自主事業 34事業247回 7,792人（保育14人含む）

事業名		回数	参加者数
高齢者事業	寿大学	20回	653人
一般成人事業	健康生活講座	健康生活①『骨盤体操』	1回 20人
		健康生活②『ビューティ・ボディ・ストレッチ』	1回 36人
		健康生活③『からだおもいの料理と講話』	2回 13人
	和文化講座	ふろしき講座	2回 20人
		ちりめん講座	1回 9人
家庭教育・子育て支援・図書室関連事業	えほんであそぼ		46回 368人
	よみきかせ夏スペシャル		1回 61人
	よみきかせクリスマススペシャル		1回 67人
	よみきかせ学童訪問	宗岡学童クラブ	1回 50人
		宗岡第二学童クラブ	1回 46人
		宗岡第三学童クラブ	1回 37人
		宗岡第四学童クラブ	1回 57人
	よみきかせ学校訪問	宗岡第二小学校	1回 168人
		宗岡第四小学校	1回 168人
	移動図書室		8回 387人
	訪問図書室		10回 149人
	サマースクール宿題教室		6回 86人
	サマースクール習字教室		1回 57人
	書き初め練習会		2回 26人
	親子物作り教室		1回 11人
大人の映画会		1回 82人	
青少年事業	職業体験学習（宗岡中学校、志木中学校）		2回 11人
学校連携事業	宗岡中学校区地域学校保健委員会		1回 174人
	子ども陶芸教室		2回 17人
地域福祉事業	おとこの木あそび		11回 86人
	パステルアート教室		12回 137人
	はじめてのそば打ち講座		1回 12人

	ボランティア体験プログラム	3回	18人
	介護職員初任者研修 はじめての介護講習会	18回	237人
地域連携 事業	小学生の勉強会	31回	408人
	中学生の勉強会	46回	395人
	羽根倉子ども会調理実習	1回	24人
	羽根倉子ども会クリスマス会	1回	19人
	羽根倉子ども会進級お祝い会	1回	24人
	羽根倉町子ども会郷土かるた練習会	2回	19人
サークル 支援事業	陶芸窯取扱責任者講習	1回	17人
館内共催	普通救命講習会	1回	21人
	七夕週間	1回	480人
	ふれあいフェスタ	1回	300人
	総合福祉センターまつり	1回	2,808人

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ45回（素焼き21回、本焼き24回）

③ 図書室運営 開館日数 337日

ア、利用者数

児童	青少年	一般	団体	合計
2,175人	302人	8,550人	401人	11,428人

イ、貸出資料数

児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
19,512点	14,610点	3,272点	3,968点	41,362点

ウ、リクエスト受付

児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
686件	2,946件	577件	359件	4,568件

エ、図書室ボランティア

読み聞かせボランティア（えほんであそぼ） 年間54回、延べ142人協力

宗岡第二公民館サポーター（ニコサポ） 年間 延べ174人協力

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に参加した。

また、図書室の利用者サービスの充実に必要な研修・講習会に参加した。

① 消防訓練 2回実施（9/30、2/8） 7人参加

② 研修会・講習会 7件 延べ14人参加

(4) 利用者アンケート

アンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進めた。

① 施設利用アンケート

施設利用後に提出する利用カードに利用者の満足度が把握できるようアンケート項目を入れ集計。いただいた意見については、改善に努めるとともに、内容をまとめ、館内に掲示した。

集計数
2, 6 3 3 件

② 講座アンケート

今後の事業運営に反映できるよう、各講座終了時アンケートを実施した。

集計数
2 2 2 件

サービス区分	21 自動販売機の設置に要する経費
--------	-------------------

事業の概要 本会が行う社会福祉事業または公益事業に充てるため、市内公共施設内等に自動販売機を設置した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
事業費支出	162,863	行政財産使用料・電気代
繰入金支出	897,775	法人運営へ
支出合計	1,060,638	

2 主要な施策の成果

自動販売機設置場所及び内容

設置場所	設置内容
総合福祉センター	清涼飲料水 4 台
福祉センター	清涼飲料水 1 台
第二福祉センター	清涼飲料水 1 台